

令和3年度第4回教育研究評議会議事要旨

日 時 令和3年6月23日(水) 14時31分～14時55分
場 所 オンライン会議 (Zoom 活用)

出席者 22名

穴沢学長, 江頭理事 (総務・財務担当副学長), 鈴木理事 (教育担当副学長), 近藤副学長, 高橋評議員 (保健管理センター所長), 副島評議員 (言語センター長), 平沢評議員 (情報総合センター長), 佐野評議員 (CGS 教育支援部門長), プラート評議員 (CGS グローカル教育部門長), 小林評議員 (国際連携本部長), 劉評議員 (経済学科長), 乙政評議員 (商学科長), 才原評議員 (企業法学科長), 大津評議員 (社会情報学科長), 片桐評議員 (現代商学専攻長), 齋藤評議員 (アントレプレナーシップ専攻長), 沼田評議員 (一般教育系学科主任), 中島評議員 (経済学科教授), 伊藤評議員 (商学科教授), 河森評議員 (企業法学科教授), 加地評議員 (社会情報学科教授), 中川評議員 (一般教育系教授)

欠席者 3名

李評議員 (CGS 産学連携推進部門長), ホルスト評議員 (言語センター教授), 小林評議員 (アントレプレナーシップ専攻教授)

議事に先立ち, 前回6月2日開催の教育研究評議会の議事要旨の確認が行われた。

議題1. 第4期中期目標・中期計画(素案)の策定について

穴沢学長から, 審議資料1に基づき, 第4期中期目標・中期計画(素案)の策定について諮られ, 審議の結果, 原案どおり承認された。

承認後, 7月12日開催の役員会での議を経て, 7月末までに文部科学省に提出する旨発言があった。

また, 提出までの期間で修正があった場合には, 学長に一任願いたい旨発言があった。なお, 構成員より主として以下の意見等があった。

○様々な新しい取り組みを行うようだが, それらは実現可能なのか伺いたい。

→すでに一部試験的に, 1年生に向けた教育プログラムを展開している。

帯広畜産大学や北見工業大学でも種々検討を行っており, 実現可能であると考えている。

○目標や計画を策定する上で, 帯広畜産大学や北見工業大学と考え方の違いなどはあったのか伺いたい。

→3大学間でこれまで準備をしてきた内容であり, 異論等は特になかった。

議題2. 教員の定員・現員及び教授昇任に係る基準該当者の確認について

穴沢学長から, 審議資料2に基づき, 教員の定員・現員及び教授昇任に係る基準該当者の確認について諮られ, 審議の結果, 原案どおり承認された。

報告事項 1. 教員の再雇用について

穴沢学長から、教員の再雇用について以下のとおり報告があった。

○本年度末をもって定年退職予定の以下の役員及び教員から、再雇用の申し出があり、「本学再雇用職員就業規則」及び「本学特任教員規程」に基づき、令和4年4月1日から特任教授として再雇用することとした。

- ① 役員 鈴木 将史 理事
- ② 言語センター 副島 美由紀 教授

○アントレプレナーシップ専攻の瀬戸篤教授及び出川淳教授からは再雇用の希望がなかった。

○本年4月1日から再雇用している以下の3名の教員から、再雇用期間の更新の申し出があり、令和4年4月1日から再雇用の期間を1年間更新することとした。

- ① 商学科 高田 聡 特任教授
- ② 企業法学科 石黒 匡人 特任教授
- ③ 言語センター サーマン ジョン 特任教授

報告後、穴沢学長から、7月14日開催の学部・大学院合同教授会において報告する予定である旨発言があった。

その他

審議終了後、以下のとおり意見等があった。

○3大学経営統合後における大学総括理事の選考方法について伺いたい。
→合同理事長選考会議において検討することとなっている。

次回の開催日程等

次回の教育研究評議会は、7月14日（水）現代商学専攻教授会終了後に開催する予定である。